

# 山都町竹資源利活用協議の取組

広報やまと、3・4月号に協議会の取り組みが紹介され、またテレビ放送されたこともあり、徐々に竹粉への関心が高まっています。

昨年引き続き、竹の粉を使った栽培実験を行っておりますので、その近況報告を致します。

**水稲について**  
今年の5月は遅霜や低温であったため、苗の出来が良くなかったという声を町内のいたるところで耳にしました。幸い、竹粉を使った生産者の方の苗の不良はみられず、使用した生産者の方々からは、茎が太くて固い、根がびっしり張った苗ができたという好評でした。

現在、床土に対する混合割合の試験を行っているところです。50、75、100%（写真下）で竹粉を混ぜてみましたが、床土や炭の代わりになるようです。肥料割合の調整や育苗期間が長くなるなどの課題もありますが、軽くて丈夫な健苗ができることが分かってきました。盆前までには昨年同様、根の張り具合の調査を行います。

また今年は、竹粉の散布時期（荒田起こし、植代時、田植後、出穂前）と収量の関係を確認するために、追肥試験を試みる予定です。昨年以上の結果が出るか、非常に楽しみです。

試験圃場として、通潤橋前の田んぼでは、矢部小の5・6年生の協力を得て、竹粉苗と田植後に竹粉散布をしております。



竹粉：土＝50：50 苗の根の様子

竹粉100%苗の根の様子

**チリも積もれば山都成る!!**



島木 吉本さん荒田時の散布様子



木鷲野会 山部さん植代時の散布様子



大野 山崎さん田植後の散布様子



田植後、矢部小5年生 竹粉散布の様子



6月23日 矢部小5・6年生 田植の様子



通潤橋前の田の昨年の様子

## 野菜について

**ジャガ芋**（島木・藤本さん、男成・蒲池さん）、**玉ねぎ**（島木・中石さん）、**里芋**（島木・木鷲野会）、**トマト**（御所・白根さん）、**ペーリーフ**（鶴ヶ田・福田さん）、他数多くの方々へ使用して頂きながら、竹粉実験を進めている所です。竹粉を使用した方から感想が届きましたのでお知らせ致します。

**熊本市内在住、休日に来家の島木、栃の木で菜園をされている藤本あきみさんからの便り**

今日、ジャガ芋の収穫をしました。竹粉が芋の回りについたままの収穫で、土も発酵した感じでした。ジャガイモが出てきたので、母と一緒に写真（左）撮りました。帰って、早速ジャガ芋づくしの夕食でした。まずは素材の味をと思い、ゆがきたてを塩のみで頂き、かなり美味しかったです。自然食に興味がある近所の人に試食として分けて食べて頂くつもりです。口コミで広がっていきければ良いですね。近況報告させて頂きました。



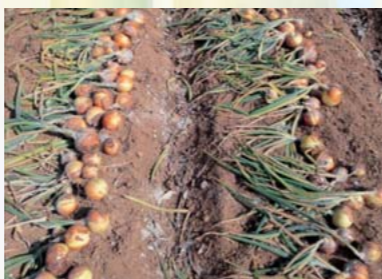
## 男成の蒲池さんからの便り

おはようございます。ジャガ芋掘り上げました。竹パウダー使用、不使用でかなり差が出ました。写真（左）はキタアカリという品種ですが、デジマ、共に左側が竹パウダー有り、右側が無いです。実測してませんが1.2〜1.5倍程度差が出ました。全体的に2Lサイズが多く、芽かきしない方がよかったです。

種芋取りのため夏ジャガイモも植える予定なので追加試験して見ます。そうか病も入らず肌も綺麗でした。ピーマンの後作だったのですが障害もありませんでした。



**中石さんの玉ねぎ**（写真左）では、玉太りがよく形が揃っており、食べてみると甘味が多かったとのこと。



**福田さんのペーリーフ**（写真左）では夏場の萎れが少ないようにと実験中で、感触は悪くはないとのこと。



**白根さんのトマト**は、育苗時から使用され写真左（右：竹粉入）、根の張りが顕著で、成長点の伸びが顕著であるとのこと。



これからの夏野菜、秋野菜に向けて使用されてみてはいかがでしょう。

引き続き、筒生産と竹林整備を含めて、他事業・関係機関、矢部高校を含めた教育機関とも連携を図りながら、山都町の農林業振興に寄与できるように更なる展開を図りますので、ご理解と協力の程、よろしくお願い致します。

問合せ先

協議会 副会長 野口慎吾  
携帯080-8554-2023